

ふれあいまなぼうさい

出水校区自治会協議会主催の「ふれあいまなぼうさい」が6日開催されました。今年も各町内からもたくさんの皆様に参加されました。東日本大震災への派遣隊員の方から現地の報告、応急担架の作り方やAEDの使い方、消火器の使用法、ガスの安全な取り扱いの訓練の後、非常食体験やぜんざい会等々、盛りだくさんのイベントがありました。地域の方々・子どもたちの防災についての意識も高まり、大きな学びの場になったことと思います。



避難所宿泊体験

「まなぼうさい」に関連し、PTA主催による避難所宿泊体験が前日の5日夜開催されました。およそ60人の子どもたちの参加があり、親元を離れて体育館で友だちと寝食をともにする体験を通して、避難所生活の不自由さや集団生活で守らなければならないこと等々、たくさんのことを学ぶことができたと思います。震災はいつ起きるかわかりません。市内の各学校も避難所として活用できるよう、市でもいろいろと検討されているようです。

校区大運動会

13日、隔年開催の校区大運動会が行われました。各町内からたくさんの皆様の参加のもと、一致団結し優勝を目指してがんばっておられました。子どもたちも、春の運動会から半年後でもあり、楽しみにしていたようで、和気あいあい楽しい雰囲気の中、町内のためがんばる姿が見られました。最近では、校区の皆さんが集まる機会も少ないので、地域の皆様にとってもお互いに交流を深めるよい時間だったのではないかと思います。



幼稚園との交流会

15日、1年生は生活科で出水幼稚園との交流会を行いました。各教室でお迎えした後、班毎に園児の皆さんといっしょに学校探検に出かけました。校内のいろいろなお部屋へ案内し、自分たちで調べたことを説明してあげました。その後、音楽会に向けて練習中の演奏を聞かせてくれました。園児の皆さんも楽しい時間を過ごしてくれたことと思います。1年生の皆さんも入学して半年、自分の成長を感じていたようです。

心かがやけ月間

11月は、市内全校で行われた「心かがやけ月間」で、子どもたちの「心」も大きく成長したのではないかと思います。本校でも、「あいさつ運動」や「朝ボラ活動」など、各クラスでそれぞれの取り組みについて話し合い、一人ひとりが「自分にできること」に1ヶ月間がんばって取り組んでくれました。

「心」の成長の一つは、「相手の立場に立って考えることができる」ようになることだと思います（私論ですが）。今の世の中、いろいろな面で社会全体が厳しい状況にあります。自分の生活を心地よいものにするためには、まずは、自分自身が周りの人々に対してのやさしい声かけや困っているときに手助けをしてあげたりと、相手のことを思いやる言動をとることが大切です。

一部には、一方的にいじめられることももちろんあるかと思いますが、自分がとった言動の跳ね返りが自分に返ってくる場合も多く、自分がされたことから、自分自身の言動がどうだったか振り返って考えてみることも大切なように思います。学校生活での周りの人とのかかわりから「思いやりの心」を育てるために、今後ともいろいろな活動を通して取り組んでいきたいと思っています。

校内音楽会

26日、たくさんの地域の皆様、保護者の皆様にご観覧いただき校内音楽会を開催しました。それぞれ



れに少しずつ練習に励み当日を迎えました。やや緊張感もあったと思いますが、それぞれの学年が心を一つにして、生き生きとした演技と魅力あふれる演奏から感動的な時間を過ごすことができました。子どもたちのがんばりに心から拍手を送りたいと思います。保護者席が狭く、ゆっくりご覧いただけずご迷惑をおかけしたことを申し訳なく思っています。

校内読書週間

7～11日、校内読書週間でした。毎日の朝自習の時間

の朝読書、図書ビンゴで本を借りるため、図書室では毎日並んで待たなければならない状況でした。また、図書委員による児童集会での劇、PTA図書委員の皆様方による各クラスでの読み聞かせ等、子どもたちも読書の楽しさを実感し大変喜んでいました。読書の習慣化は、生涯にわたって大切なことでもあり、ご家庭でもできるだけ読書の時間を設けていただけたらと思います。

